

## ダンスと私

～80歳まで踊ります～

23期 くらた 倉田 じゅんこ 淳子 (旧姓 青木)

六十歳を過ぎ子供二人も家庭を持ち、親として責任が果たせ、これから先、老後の人生を如何に過ごしていこうかといろいろ考えていました。偶然、市の広報誌に社交ダンスの無料レッスンの記事を見つけ、教室が家から近く、身体を動かす事なので「ちょっと覗いてみようかなあ」と、見学のつもりで出かけました。

なんと、そこに何十年もお会いしてなかった息子の小学校時代のお母さんが、助手としてご指導されておられたのです。彼女のお勧めもあり、運動靴にジーンズでもOKとの事で軽い気持ちで始めることにしました。

彼女は、助手をされるほどの腕前で先生とステキなステップを踏まれて… うっとりです。その後、彼女がご自分のダンス服を下さいました。「靴は自分サイズを買ってね」と言う事に自分で用意し週1回、1時間。これが私のダンスとの出会いです。

毎週、休まず通っても、彼女とは程遠い自分ですが、そんな中、レッスンの月曜日を心待ちする様になって…。頭と体を使い、手と足をバラバラに出して、足腰の運動やボケ防止になると自分に言い聞かせて休む事無く通いました。欲も出てきてレッスンの回数も増やし、衣装も増えそして、パーティにも参加できるようになり、今では、本当に私の生きがいとなってしまいました。

教室は、もちろん男性が少なく、女性も六十・七十代の方が多く、若い方でも五十代ですが、皆さんレッスン日は普段よりお化粧も濃いめ、派手なレッスン着、そして、姿勢よく、日頃、足が痛い腰が痛いと言いながらも、見栄を張ってレッスンを受け少しでもかっこ良く見せるも、レッスンを終え、足を引きずり戻ってくる姿に、皆さんやさしく失笑です。

あと何年ダンスが出来るかわかりませんが、私の目標は「八十歳まで踊れたらいいなあ」と思っています。そのためには日々健康に気を付け、足腰を鍛えて残された人生を生きていこうと思っています。

